



南十字星だより



No.2 2014年1月7日
シンガポール日本人学校チャンギ校
加藤幸平（平成25年度派遣者）

明けまして、おめでとうございます！！

今回は、私が赴任した「シンガポール日本人学校小学部チャンギ校」の行事とシンガポール日本人会の活動を紹介したいと思います。

鳥取県の小学校や地域の行事などと、比べながら読んでいただくと嬉しいです。

1 学校行事

シンガポール日本人学校チャンギ校には、2つの大きな行事があります。それは、1学期の音楽発表会と2学期の運動会です。（学習発表会は、ありません。）

(1) 音楽会

各学年が4曲（英語と日本語の曲を2曲ずつ）を発表します。特に、3年生のリコーダー演奏「届けようこの夢を」は、とてもきれいな曲で心に残りました。

その他にも、1年生の「チャンマリチャン（マレーソング）」や6年生の和太鼓演奏など、様々な国の音楽を披露し、保護者のみなさんから、たくさんの拍手をいただきました。



(2) 運動会

運動会は、毎年9月に行っています。練習は、おおよそ2週間行います。しかし、本番は午前中だけです。東南アジア特有の暑さで、午前中だけでもかなりハードです。



種目は、100m走やリレーなどがありますが、今年一番盛り上がったのは、中学年の演技「黒田武士」でした。福岡の民謡に「黒田節」があります。それをロック調にアレンジした曲で『鳴子』を持った150人が、元気いっぱいの迫力あるダンスを繰り広げました。

2 日本人会スポーツ大会

シンガポールに暮らしている日本人が集まって、スポーツや音楽、料理を楽しむ「日本人会」という会があります。それぞれが、地域の行事として積極的に参加しており、私も、自分が興味のある行事にいくつか参加しています。



そのうち、チャンギ校の先生たちでチームを組んで参加したサッカー大会では、一回戦を突破しましたが、2回戦でPKで惜しくも負けてしまいました。

また、私は『南十字星』という月刊冊子の編集員もしています。12月に引退しましたが、元日本代表でワールドカップに出場した戸田選手にインタビューすることができました。イングランドでの生活やトルシエ元監督の話は、とても興味深いものでした。また、マレーシアのジョホールバルサッカー場（日本が初めてワールドカップ出場を決めた場所）に行き、ピッチでボールを蹴る機会にも恵まれました。

3 おわりに

シンガポールに来て、もうすぐ一年が経とうとしています。年中、夏のような気候です（鳥取県での7月のような天候）。当然、雪は降りませんからスキーやスノーボードを楽しむことはできませんが、年中泳げることやスノータイヤ、冬服が不要なことなど、



プラスに考えることにしています。

さて、シンガポールは東南アジアの国々からはもちろん、ヨーロッパや日本人など様々な考え方や生活様式を持った人々が暮らしています。チャンギ校では、世界中の文化や人々の考え方を尊重し合おうという観点から、年に3回「民族衣装DAY」を設けています。中国やインド、マレーシアの服装でその日は過ごします。

シンガポールに暮らしてみると、本当に様々な言語や風習に自然と触れることができます。

もちろん、旅行とは全く違い、生活する中では日々驚きの連続です。次回は、現地の学校やシンガポールで体験した異文化について紹介したいと思います。



今年も、よい年でありますように！